

かすかべ KASUKABE 議会だより

2018(平成30)年11月1日発行
発行・埼玉県春日部市議会
編集・広報広聴委員会
<http://www.kasukabe-shigikai.jp/>

第53号



春日部市立江戸川小中学校 新校舎落成式典



平成30年10月1日現在
人口 234,824
男 116,578
女 118,246
世帯数 105,361

モミジ

主な内容

- 主な議案の紹介…………… 2～4 ページ
- 審議結果…………… 4～5 ページ
- 一般質問…………… 6～16 ページ
- 傍聴して一言…………… 16 ページ
- 閉会中の委員会活動…………… 16 ページ

平成29年度一般会計決算を認定

学校施設や通学路におけるブロック塀等の 安全性確保を求める意見書を全会一致で可決

平成29年度 一般会計決算を認定

平成29年度一般会計決算の
主な内容は次のとおりです。

○主な内容

歳入決算額は722億862万円、歳出決算額は692億3852万円となり、差引残額約29億7000万円は、平成30年度に繰り越されました。

○歳入の主なもの
歳入の根幹である市税は284億3693万円（一般会計の39・4パーセント）で、市民税個人や固定資産税が増えたことにより、前年度比約2億円の増となっています。
次に、国からの補助金などである国庫支出金は133億6282万円（一般会計の18・5パーセント）で、前年度比約14億円の増となっています。

ます。
次に、国から地方財政の均衡を図るために交付される地方交付税は83億1629万円（一般会計の11・5パーセント）で、前年並みとなっています。

○歳出の主なもの

歳出に占める割合の大きいものでは、社会福祉などに要する民生費は316億3512万円（一般会計の45・7パーセント）で、前年度比約5億6019万円の増となっています。
次に、衛生費は83億7314万円（一般会計の12・1パーセント）で、前年度比約10億7639万円の増となっています。
そのほかに、総務費は75億6015万円（一般会計の10・9パーセント）。土木費は62億647万円（一般会計の9パーセント）。教育費は53億743万円（一般会計の7・7パーセント）となっています。

討論

【賛成多数で認定】

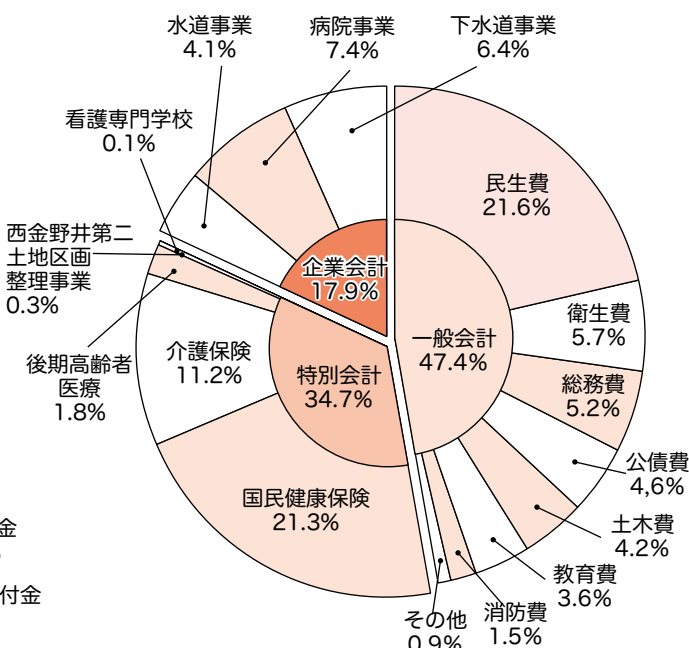
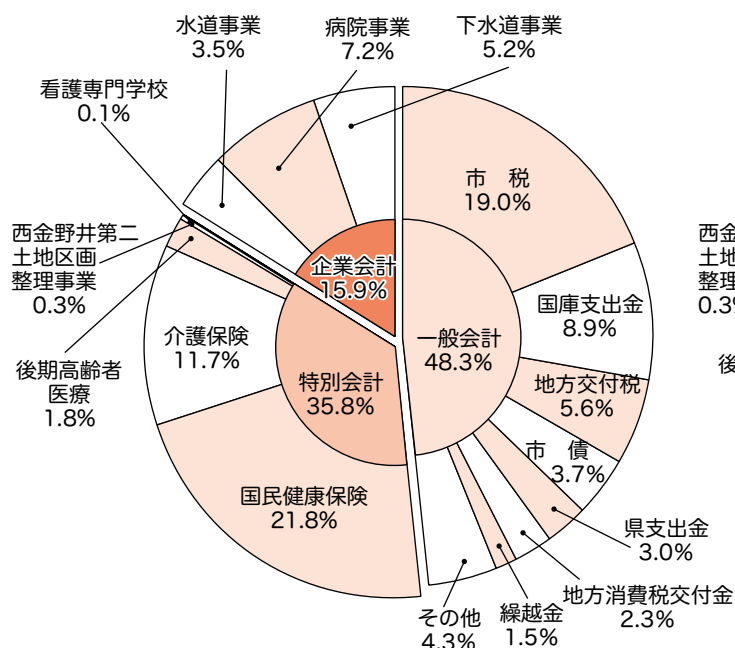
施策の前進、市民負担の軽減、市民サービスの向上を求め反対（日本共産党）

29年度一般会計決算からわかることは、一言で言えば、市民の切実な願いに答えられる財源は十分あるということです。
歳入では、個人市民税の納税義務者数が増え、増収となりました。固定資産税は、家屋の新増築の増により、増収となりました。ただし、納税義務者の所得が県内平均と比べて、約30万円も低いということを認識しておく必要があります。一方で、法人市民税は、減収となりました。以上のことから市の自主財源を確保するには、市民の所得と人口を増やすことが重要である

平成29年度 会計別決算

歳入総額 1,494億3,144万円

歳出総額 1,461億2,845万円



※計数については、それぞれ四捨五入をしているため、合計において一致しないものがあります。

ことがよくわかります。市の財政は実質的な借金は少なく、貯金も多くあります。他市と比べておこなわれている施策の推進を図り、市民の負担を軽減し、市民サービスの向上を図ることのできる財政状態になっていると言えます。

次に、歳出について述べます。今、春日部市においては、市民の命と暮らしを守り、福祉の増進、地域経済の活性化と子育て支援でまちの活気を取り戻すことが強く求められています。この視点から29年度における市の取り組みはどうかであったのか、今後、市政運営に生かしてほしい内容について、絞って指摘をします。

貯留施設の建設を急ぎ、安心して生活できるよう治水対策事業のさらなる強化を求めます。農林水産業費については、農家戸数の減少が加速化し、後継者対策が重要な課題となっています。学校教育費では、増え続ける児童生徒の不登校やいじめ対策、教職員の増員、教員の多忙化解消など、総合的な対策を図る必要があります。

まず、総務費です。人口当たりの職員数は、相変わらず県内で最も少ない状況で、職員の負担は非常に重くなっています。次に、民生費です。重度心身障害者に対する公的な入所施設は市内に一つもなく、70代での敬老祝金のカットなど、障害者や高齢者に対する施策が後退したままになっています。土木費では、低平地の多い市内にはいつも浸水する箇所が多数あり、対策が現状に追いついていないと言えません。河川改修とともに、

春日部市の最大の課題は、人口減少に歯止めをかけることです。春日部市には豊かなさまざまな資源があります。市街化区域の住宅地は、ほかの自治体に比べて整備されています。

歴史と文化の名残を残す粕壁宿や市民の命と健康を守る市立医療センターがあり、埼玉東部地域の交通の要衝です。都市に近く、近郊農業に最適な優良農地や美しい自然も随所に見られます。災害は少なく、住むところとしては大変よい環境に恵まれています。

人口減少に歯止めをかけるポイントには、このような市の利点を十分に生かして、子育て環境の整備や経済的な負担の軽減など、抜本的な対策を行うことです。

繰り返しますが、市民の切実な要求に応え、未来に投資できるだけの財源は十分にあるのです。

この財源を生かして、子育ても老後も安心、福祉、暮らし優先、住民が主人公の市政の実現を目指して取り組んでいくことが非常に重要です。以上指摘して、反対します。

真に必要な事業を優先した適切な予算執行がされたものと評価し賛成（新政の会）

初めに、平成29年は、総合振興計画の最終年度であり、目標達成に向け、各分野においてさまざまな取り組みを行い、大きな成果を上げたこと、また、山積する行政課題の解決に向けて、また、将来の春日部を見据え、効率的かつ効果的な予算執行に努められたものと評価します。

まず、歳入では、その根幹となる市税において、景気回復による個人住民税の増等により、市税全体では前年度と比べて増額となりました。さらに、市債においては、合併特例債や臨時財政対策債の活用など、後年度の財政負担を考慮した有利な借り入れを行っており、評価できるも

のです。

ただし、歳入全体では、依存財源の占める割合が依然として高く、楽観できない財政状況にあることを考えますと、持続可能な財政基盤の確立のため、さらなる自主財源の確保に期待するものです。

次に、歳出について、総務費では、今後10年間のまちづくりの指針となる第2次総合振興計画を策定しました。この計画に基づき本市のさらなる発展に向けてさまざまな施策が展開されることを期待します。

民生費では、民間保育施設の増改築費や小規模保育事業所の開設に要した費用を助成し、保育環境が整備され、保育所待機児童の解消に向けた効果的な取り組みが着実に進んでいるものと評価します。

衛生費では、ごみ焼却施設長寿命化事業において、平成30年度の完成を目指して順調に進捗しており、今後も安定したごみ処理事業が継続されるものと期待するものです。

土木費では、都市インフラマネジメント計画を策定し、今後の維持管理方針と具体的な取り組みを示し、治水対策の100ミリ安心プランとと

もに、市民のさらなる安心安全に寄与するものと考えます。教育費では、武里南部地域及び庄和北部地域における学校再編について、平成31年4月の開校に向けた整備が地域の皆さまとともに着々と進められており、評価します。

以上のとおり、歳出については、将来の春日部を見据えた真に必要な事業を優先した適切な予算執行がなされたものと受け止めています。平成29年においては、景気が緩やかに回復したとはいえ、今後、連続立体交差事業や市役所本庁舎の建てかえなど、多くの重要事業を着実に推進していくためには、その財源をしっかりと確保していく必要があります。

市民サービスの拡充は必要なことと考えますが、確かな財源の裏づけもなく、その財源について単に財政調整基金などを取り崩して対応するといった考え方は、将来世代に責任を持つ持続可能な財政運営の観点から決して適切とはいえません。

基金については、現在のみならず将来の行政需要にもしっかりと目を向けながら、また、最近全国各地に大きな影

響をもたらししている異常気象への対応など、不時の支出に對する備えとしても一定規模を維持する必要があると考えます。

最後に、今後におきましても、限られた財源を有効かつ効率的に活用し、より一層の市民サービスに努めていただくよう要望して、賛成します。

議員提出議案

学校施設や通学路におけるブロック塀等の安全性確保を求める意見書

本年6月18日、午前7時58分に大阪北部で震度6弱を觀測した地震では、児童を含む5名が亡くなり、400名以上が負傷しました。特に、学校関係では、158人に及ぶ児童生徒が重軽傷を負い、1200を超える学校で校舎等の天井・ガラス等の破損、壁のひび割れ、断水等の物的被害を受けました。

なかでも、学校施設のブロック塀が倒壊して、下敷きになって児童が死亡したことは大変痛ましく、二度とこのようないことがあつてはなりません。埼玉県春日部市において

は、学校施設の耐震化は終わりましたが、通学路等でのブロック塀等の危険箇所については盲点になっている可能性があります。同様の惨事が起こらないよう早急な対策を行うべきであります。文部科学省は、6月19日に学校施設における塀の緊急点検を要請しましたが、今後において、学校施設の点検、安全性確保はもとより、児童生徒が利用する通学路についても速やかに点検した上で、安全性確保に向けて改善を図ることが必要であります。

記
1 今回被災した地域においては、二次被害も想定されることから、通学路のブロック塀等の総点検・調査を緊急に実施し、危険が認められる箇所については、通学路の変更や立ち入り禁止等の措置を含めた対応を徹底すること。

2 全国の通学路も緊急総点検・調査を実施するとともに、工事が必要な場合は、民間事

業者とも連携しつつ速やかに実施し、地方自治体に対する技術的・財政的支援を行うこと。その際、一般家庭の塀であつても倒壊の可能性があるのである場合に支援出来る制度を検討すること。また、国土交通省の社会資本整備総合交付金及び防災・安全交付金の効果促進事業（C事業）の積極的な活用を図ること。

3 学校施設の安全対策に要する費用については、塀の修繕など小規模工事に対する補助制度、法定点検やそれに伴う修繕への補助制度の創設等を検討すること。その際、400万円と定められている文部科学省の公立学校施設の防災機能強化事業の補助対象事業の下限額について、広域での申請を認めるなど弾力的に運用すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。
平成30年9月19日

春日部市議会

衆議院議長 様
参議院議長 様
内閣総理大臣 様
総務大臣 様
文部科学大臣 様
国土交通大臣 様
【全会一致で原案可決】

9月定例会 審議結果

市長提出議案

(○:賛成 ×:反対)

議案番号	議案名 ()は付託委員会名	審議結果	新 政 の 会	前 進 か す か べ 未 来 の 会	公 明 党	日 本 共 産 党	無 所 属
議案第71号	選挙運動費用の公費負担に関する条例の一部改正 (総務)	原案可決	○	○	○	○	○
議案第72号	住民基本台帳カードの利用に関する条例の一部改正 (総務)	原案可決	○	○	○	○	○
議案第73号	重度心身障害者医療費助成に関する条例の一部改正 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	○
議案第74号	個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	×1 ○1
議案第75号	開発事業の手続及び基準に関する条例の一部改正 (建設)	原案可決	○	○	○	○	○
議案第76号	市立看護専門学校条例の一部改正 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	○
議案第77号	財産の取得(春日部市春日部消防署災害対応特殊はしご付消防ポンプ自動車) (総務)	原案可決	○	○	○	○	○
議案第78号	財産の取得(春日部市春日部消防署東分署災害対応特殊救急自動車及び高度救命処置用資機材) (総務)	原案可決	○	○	○	○	○
議案第79号	平成29年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分 (建設)	原案可決	○	○	○	○	○

市長提出議案

(○:賛成 ×:反対)

議案番号	議 案 名 () は付託委員会名	審議結果	新 政 の 会	前 進 か す か へ 未 来 の 会	公 明 党	日 本 共 産 党	無 所 属
議案第 80 号	平成29年度下水道事業会計未処分利益剰余金の処分 (建 設)	原案可決	○	○	○	○	○
議案第 81 号	平成29年度一般会計決算認定 (各委員会)	認 定	○	○	○	×	○
議案第 82 号	平成29年度国民健康保険特別会計決算認定 (厚生福祉)	認 定	○	○	○	×	○
議案第 83 号	平成29年度後期高齢者医療特別会計決算認定 (厚生福祉)	認 定	○	○	○	×	○
議案第 84 号	平成29年度介護保険特別会計決算認定 (厚生福祉)	認 定	○	○	○	×	○
議案第 85 号	平成29年度春日部都市計画事業西金野井第二土地区画整理事業特別会計決算認定 (建 設)	認 定	○	○	○	○	○
議案第 86 号	平成29年度市立看護専門学校特別会計決算認定 (厚生福祉)	認 定	○	○	○	○	○
議案第 87 号	平成29年度下水道事業会計決算認定 (建 設)	認 定	○	○	○	×	○
議案第 88 号	平成29年度病院事業会計決算認定 (厚生福祉)	認 定	○	○	○	○	○
議案第 89 号	平成29年度下水道事業会計決算認定 (建 設)	認 定	○	○	○	×	○
議案第 90 号	平成30年度一般会計補正予算(第3号) (各委員会)	原案可決	○	○	○	×	○
議案第 91 号	平成30年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○
議案第 92 号	平成30年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○
議案第 93 号	平成30年度介護保険特別会計補正予算(第1号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○
議案第 94 号	平成30年度春日部都市計画事業西金野井第二土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号) (建 設)	原案可決	○	○	○	○	○
議案第 95 号	平成30年度市立看護専門学校特別会計補正予算(第1号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○
議案第 96 号	平成30年度下水道事業会計補正予算(第1号) (建 設)	原案可決	○	○	○	○	○
議案第 97 号	平成30年度病院事業会計補正予算(第1号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○

請 願

(○:賛成 ×:反対)

請願番号	請 願 名 () は付託委員会名	審議結果	新 政 の 会	前 進 か す か へ 未 来 の 会	公 明 党	日 本 共 産 党	無 所 属
請願第 4 号	消費税増税中止を求める意見書を国に提出することを求める 請願 (総 務)	不 採 択	×	×	×	○	× ¹ ○ ₁
請願第 5 号	市立小・中学校の特別教室と体育館にエアコン設置を求める 請願 (教育環境)	不 採 択	×	○	×	○	×

議員提出議案

(○:賛成 ×:反対 -:退席)

議案番号	議 案 名 () は付託委員会名	審議結果	新 政 の 会	前 進 か す か へ 未 来 の 会	公 明 党	日 本 共 産 党	無 所 属
議第 17 号議案	児童虐待防止対策のさらなる強化を求める意見書 (付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○
議第 18 号議案	学校施設や通学路におけるブロック塀等の安全性確保を求め る意見書 (付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○
議第 19 号議案	国などによる障害者雇用「水増し」問題の徹底した真相解明 と再発防止策の確立を国に求める意見書 (付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○
議第 20 号議案	東海第二原子力発電所の再稼働を認めないことを求める意見 書 (付託省略)	否 決	×	○	×	○	× ¹ ○ ₁
議第 21 号議案	オスプレイの即時撤去と新たな配備計画の撤回を求める意見 書 (付託省略)	否 決	×	× ⁷ - ₁	×	○	× ¹ ○ ₁
議第 22 号議案	春日部市住宅リフォーム助成条例の制定 (付託省略)	否 決	×	×	×	○	×

一般質問

市民の声を市政に



議長は職責上（議事整理権）、監査委員は申し合わせにより、一般質問を行っていません。

（文責は、各質問者）

一般質問に30人が登壇

新たな観光産業基盤整備と強化、育成方針について



水沼日出夫
議員

8月、日本政府が掲げる「明日の日本を支える観光ビジョン」の下、国内外に向けた本格的な防災インフラ観光施設として、首都圏外郭放水路の民間運営見学システムが満を持して始動。

そのような中、地元観光産業に関わる具体的な動きも見えてきた現状を踏まえ、本市に新たな経済効果を生み出すため、おもてなしを担う私たちが取り組むべき課題等を伺います。

また、春日部市観光振興基本計画策定後、観光産業の拡大と定着を目指す取り組みが、着実に新たな経済効果につながるような観光産業基盤の開発と育成の方針を伺います。

○環境経済部長

観光振興を推進する上では、商業や工業、農業、文化財など観光資源となり得るあらゆる分野と連携し、地域経済の活性化を図る必要があります。

そのため、回遊性や利便性の向上を目指した仕組みや体制を構築し、観光客が春日部で楽しんでいただける時間を増やしていくことが新たな経済効果を生むためには最も重要であると考えます。

また、今後の観光振興の推進にあたっては、市内に点在するさまざまな観光資源を結びつけ、観光にかかわる団体や事業者、市民の皆さまと市が一体となつて観光施策に取り組むことで観光資源のネットワークの形成が進み、観光産業の拡大につながるものと考えます。

永沼地区の都市的土地利用について



会田 幸一
議員

北に葛中通り、東に国道4号バイパス、南に庄内領悪水路、西に中川に囲まれた永沼地区の土地利用について、以下伺います。①春日部市の計画における位置づけ②産業集積土地利用を実現する上での課題③まちづくりについての市長の考え

○都市整備部長

①第2次総合振興計画、都市計画マスタープランにおいて、国道16号、国道4号バイパスなど充実した交通網を生かすため、広域幹線道路の沿道や結節点の周辺、東埼玉道路の整備により、さらなる発展が見込める地域を産業集積検討ゾーンとし、永沼地区もこのゾーンに位置づけています。

②県が定める第3次田園都市産業ゾーンの基本方針に沿った産業団地の適地の検討が必要となり、市街化区域への編入、産業団地の整備による家屋移転や造成等に伴う費用と事業用地の売却による収入との採算性を確保することが課題となると考えています。

○市長

③職と住居が近接したコンパクトで魅力的なにぎわいのあるまちづくりに大きく寄与する可能性を秘めており、まちの将来像実現のため、長期的な視野のもと、計画的かつ効率的な土地利用の実現に向け取り組んでまいります。

このほか

○飯沼・赤崎揚水機場の今後について

○春日部市の安全・安心のまちづくりについて

災害ハザードマップ に つ づ い て



鈴木 一利
議員

災害はいつどこで起きてしまふのか予測不能であります。だからこそ、災害を事前に予測する災害ハザードマップの重要性は高まってきております。春日部市でも平成20年9月に全戸配布されておりますが、すでに10年経過しております。

そこで、以下伺います。

- ①災害ハザードマップ改訂に向けての見解について。
- ②改訂の際には、春日部市にとって非常に重要である内水被害情報を含めての改訂とスマホ等で利用可能な災害ハザードマップアプリの導入について。

○市長公室長

①国の河川洪水による浸水想定区域の見直しを受け、今回の被害想定を反映した災害ハザードマップを作成する必要があります。現在、最新のデータをもとに市民の皆さまにわかりやすく周知で

きるよう、改訂に向けた準備を進めています。

②災害ハザードマップの改訂に当たっては、内水被害情報も含め検討したいと考えています。なお、災害ハザードマップアプリなどのICTを活用したツールについては、今後の課題として捉え、最新技術の開発や導入事例、利用状況等を注視していく必要があります。

このほか

- 通学路の安全確保と点検について
- 春日部市放課後児童クラブについて



春日部市災害ハザードマップ

疑問と問題ありのLGBT 条例制定には反対します



井上 英治
議員

新潮45への杉田水脈代議士論文に対して「ナチスの優生思想」等との的外れな批判が集中しましたが、むしろ杉田代議士への殺人予告メールこそ言論抑圧問題にすべきです。「レインボーさいたま」等、条例推進派の目的は憲法違反の同性婚であり、その次は兄弟婚、親子婚等の道徳破壊です。病院での付き添い等、彼らの言う差別やいじめが実際に春日部で起きているのかを伺います。また、国の相談機関整備状況はどうなっていますか。今年7月の相続法改正は「配偶者保護であり、配偶者には内縁、事実婚、同性カップルは含まない」考えたと思いますが、ポイントを伺います。

○病院事務部長

医療センターで付き添いをお願いする場合、親族関係としての家族を基本としますが、公正証書としてあらかじめ指

定された方など、本人から親しい友人としての申し出があれば、国の考え方と同様に付き添い可能としています。

○総務部長

国では、法務局の人権相談や厚生労働省の「よりそいホットライン」などの窓口があります。なお、今回の相続法改正は配偶者の居住権を保護するための方策、遺産分割等に関する見直し、遺言制度に関する見直しなど、6つの項目について改正がありました。

このほか

- 市立医療センターの利用サービス向上について

廃校となる学校の活用方針



河井 美久
議員

現在、庄和北部地域、そして武里南部地域において学校再編が進められています。

庄和北部地域では、宝珠花小学校、富多小学校、江戸川中学校が新たに県内初の義務教育学校、江戸川小中学校として、また、武里南部地域では中野中学校と谷原中学校が

新たに春日部南中学校として平成31年4月に開校することになります。

これらの学校再編は、教育環境の向上ということで大変喜ばしいことと受けとめています。

そこで、平成31年3月に閉校となる宝珠花小学校、富多小学校、谷原中学校についてその跡地の活用をどのように考えているのか伺います。

○公共施設事業調整担当部長
平成29年度から庁内で横断的な専門の検討組織を設置し、検討を進めています。

施設総量の適正化を図るという公共施設マネジメントの考え方も取り入れ、宝珠花小学校については行政利用、富多小学校については民間活用とし、武里南部地域の谷原中学校については、行政利用とすることを想定しています。

これらの方向性については、あくまでも現在のところ考えられる方向性であり、具体的な活用方法については、今後地域の皆さまの意見を伺いながら検討していきます。

その上で方向性を定め、閉校後、可能な限り迅速な跡地活用を図っていきたくと考えています。

**子どもにとっての最善の、
放課後児童クラブの運営を**



今尾 安徳
議員

本市の放課後児童クラブの運営を行ってきた社会福祉協議会が、来年度からの放課後児童クラブの指定管理者に応募しないことが明らかとなりました。

約20年間に渡り、継続的・安定的に作り上げられてきましたが、保育の質の低下と、その保育を作り上げてこられた支援員さんの継続的な雇用が大変危ぶまれる事態となっています。子どものことを第一に考えるのであれば、その核となる支援員が安心して長く働ける条件整備は不可欠だと思います。

これまで指定管理者の問題を取り上げてきましたが、こうした状況になったときに、市が直営でも職員さんを雇って、子どものために保育の継続性、安定性を守っていくべきではないでしょうか。それが支援員さんや子どもたちが笑顔で過ごせるといったことを

を保障することではないかというふうに思います。

そこで、子どもにとっての影響について市長の考えを伺います。

○市長

子どもたちへの影響が生じないよう適切な対応を図りながら、今後においても、保育の質の向上と子どもたちの安心安全の確保を最優先に考え、子どもたちにとって、よりよい保育環境を提供してまいります。

このほか

○春日部市災害ハザードマップの見直しを

春日部市内におけるNHK訪問員による玄関先での迷惑行為(被害)について



酒谷 和秀
議員

春日部市内においてNHK訪問員による迷惑行為(被害)が広がっています。

私は悪質なNHK訪問員から市民の皆さまをお守りする専門家として、NHK撃退シールを無料で配り、自分の携帯電話番号も一般に公開して相談を受け付けています。ほ

**市道2-41号線の
維持管理について**



金子 進
議員

この市道は、元は県道春日部菖蒲線で現在の県道の開通に伴い、平成14年3月に春日部市に移管された道路です。

県道であった時から大型車両の通行が多い広域的な幹線道路であるため、沿道の方々からは大型車が通過するたびに家の振動や騒音が伝わってくるので困っていると多くの苦情が寄せられています。

そのため、早急に舗装修繕を実施すべきと思いますが市の考えを伺います。

○建設部長
市道2-41号線を初め、多くの主要道路において老朽化が進行していることから、計画的で効率的な維持管理が必要であると考えています。

また、老朽化の進行とともに、維持管理費用の増大が想定されるため、維持管理費用の縮減を図るとともに、長期的視点により老朽化対策に取り組む必要があることから、

平成29年度には都市インフラマネジメント計画を策定しました。

今年度においては、国の補助金を活用し、市道2-41号線を含めた一部の主要道路について、路面の改修工事を実施する予定です。その中で、

市道2-41号線については、早急に修繕が必要とされる国道16号の交差点から、かえで通りまでの約510メートルの区間において路面の改修工事を行う予定です。

このほか

○一般廃棄物処理施設の運営及び不要施設の解体について



大型車の通る市道2-41号線

鉄道高架事業について



山口 剛一
議員

4日間にわたり春日部駅付近連続立体交差事業及び関連する都市計画に関する説明会が開催されました。多くの市民の皆さまが参加されたことから、この事業に対する、春日部市の将来に対する関心の高さが示されていたと感じさせていただきました。そこで、都市計画決定までの行政手続きについて、平成30年度内の都市計画決定を目指すというふうに向っておりますが、それまでの今後の行政手続きを県、そして市、それぞれの関係性も一緒に伺います。

○鉄道高架担当部長

埼玉県決定の案、春日部市決定の案ともに同時期に縦覧を行うものです。縦覧期間中に県決定の案に対し提出された意見書の要旨及び県の見解を示した書類を県の都市計画審議会に提出し、都市計画の案についての意見を伺います。また、同様に市決定の案に対

しても提出された意見書の要旨及び市の見解を示した書類を市の都市計画審議会に提出し、都市計画の案についての意見を伺います。その後、県が決定する都市計画については県知事、市が決定する都市計画については市長が都市計画の決定を行い告示をするものです。なお、都市計画の決定については、年度内を目指し、埼玉県、東武鉄道とともに引き続き取り組んで行きたいと考えています。

このほか
○市民憲章・こども憲章の制定について



都市計画説明会の様子

地域コミュニティづくりに
つついいて



小久保博史
議員

自治会などの地域コミュニティもNPOなどのテーマコミュニティの皆さまも、活動にあたっては高齢化や担い手不足などによる活動の負担も常に課題としてあるように思います。

お互いが補完し合えるような関係づくりも、相互の活動の活性化とともに、活動負担の軽減にも繋がる可能性があります。同じようにふるさと春日部のために活動している地域コミュニティ団体とテーマコミュニティについて、市はどのように考えているのか伺います。

○市民生活部長

自治会は、地域コミュニティの形成を図るとともに、身近な課題解決に向けた地域活動の中心的な役割を行っていますが、実情として地域だけで解決できないものがあります。その課題を解決していく

ためには、専門的なノウハウを持つNPOなどの市民活動団体や大学、企業などのさまざまな主体との協力、連携が重要と考えています。

市民活動センターは、交流ネットワーク機能、マッチングと協働支援などの機能も主な役割となっていることから、専門的な知識、経験を有する指定管理者と協議、調整をしながら団体同士がより効果的につながる、活性化していくための支援の手法をつくり上げていきたいと考えています。

このほか
○空き家対策について

防災について



山崎 進
議員

近年、我が国では大きな災害が多発しています。平成23年3月11日の東日本大震災、28年4月の熊本地震、本年6月の大阪府北部地震、いずれも最大震度7クラスで、未曾有の被害をもたらしました。また、日本各地で異常気象による豪雨や台風による大雨で

の大きな被害、世界各国でも地震や大雨での災害、さらには火山噴火等、地球規模でさまざまな災害が多発しています。今後、数十年以内に発生すると予測される南海トラフ地震、首都直下地震や、すでに毎年起きている豪雨による水害など、防災対策が急務であるのと同時に常に防災意識を持つことが必要です。

そこで、以下伺います。
①春日部市の防災対策として地域の防災力強化について。
②他市町との行政境に位置し、市内の避難場所から遠い地域の方の避難対策について。

○市長公室長

①自主防災組織の強化の取り組みとして、人的支援や財政的支援などのほか、防災リーダーとして活躍していただく防災士の養成を行っています。
②災害時における避難場所相互利用に関する協定や災害時における埼玉県内市町村の相互支援に関する基本協定を締結することにより、地域間の連携体制の強化を図っています。今後、行政界を挟んだ防災訓練の充実に向けて取り組んでいきます。

このほか
○道路行政

個人の尊厳を基礎にした道徳教育を



松本 浩一
議員

道徳教育は、1958年に教科書も評価もない週1時間の「特設の授業」として始められました。2015年に道徳が「特別の教科」として位置づけられ、小学校では今年度から、中学校では来年度から実施されます。道徳の教科化により、文科省検定による教科書が用いられ、「評価」が行われるようになりました。道徳の教科化は、子どもたちに「官製道徳」を押し付け、皇民化教育を担った戦前の「修身の復活」との懸念があります。文科省の定めた徳目である家族愛、国や郷土を愛する態度など、特定の価値観を押し付けてはならないと考えます。市教育委員会の道徳教育についての見解を伺います。

○学務指導担当部長

児童生徒それぞれが持つ多様な価値観を比べ合うことで、物事を多面的・多角的に考えることが大切であり、主体的

な学び、対話的な学びにより、お互いの考えを語り合い、自己の生き方を見つめられるように導くことが大切です。また、評価については児童生徒の良い点や進歩の状況を積極的に評価します。

○教育長

道徳については、特定の価値観を押し付けるのではなく、考え、議論する学習活動の中から生み出された価値観が児童生徒主体の内面的な成長につながると思っています。

このほか

○赤沼地区の豊野工業団地拡張（産業団地整備）について

部活動の在り方について



坂巻 勝則
議員

文部科学省が実施した公立小中学校教員の勤務実態調査で、中学校教諭の約6割が週60時間以上の勤務、20時間以上の残業となり、過労死ライシンの月80時間を超えていることが分かりました。

勤務時間が長い要因の一つに部活動があります。部活動

は生徒の自主的・自発的な参加により行い、先生も生徒の要望に基づき顧問を引き受けるとされていますが、実際には学校側が部活動のメニューを用意し、顧問を割り振っているのが実情です。

埼玉県では部活動の在り方

に関する方針を策定し、活動時間は平日2時間以内、休養日は週2日以上とする基準を設け、市町村には県方針を参考に方針の策定を求めています。具体的に休業日や練習時間を決まりとして盛り込んだ実効性のある市の方針を策定していただきたいと思っています。

○学務指導担当部長

休養日や練習時間を具体的に盛り込んだ市の方針を各学校に周知するとともに、それを踏まえた学校の方針を策定するよう指導していきます。

今後も部活動のあるべき姿を見直しながら市、学校、地域や保護者が一体となって子どもたちの成長、活躍ができる環境・体制づくりに努めていきたいと考えています。

このほか

○経済政策としての住宅リフォーム助成制度の早期実現を

登下校時のランドセル等の重さ対策に配慮を



荒木 洋美
議員

今回、子育てアンケートを行ったところ、小学校1年生の保護者や子どもたちから学校に持っていく荷物が重すぎるという訴えをいただきました。「月曜日などはランドセルのほか、水筒、上履き、給食袋、体操着等、荷物がいっぱい転んでしまうこともあります。また、健康面や安全面からも心配」という声や、「ランドセルは機能的で軽くなりましたが、教科書は昔と違い大きくなり重く、1つの教科に対してノート等を含め、多いと5〜6冊あるため、ランドセルの中身が多くてかわいそう」という声を伺っています。ぜひ、校長会で統一見解として、ランドセル等の重さ対策をしていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

○学務指導担当部長

文部科学省から発出された「児童生徒の携行品に係る配慮について」の内容を校長会

で確認し、適切に働きかけてまいります。

○教育長

児童生徒の安全安心、健康を第一に考え、これまでも対応してきましたが、引き続き実態把握に努め、校長会などで確認しながら、学校に働きかけてまいります。

このほか

○健康寿命を延ばすためにフレイル（虚弱）予防を

○防災対策の一環として乳幼児液体ミルクの災害時活用を

○婚活「SAITAMA出会いサポートセンター」の普及・啓発を



荷物が増えて重くなったランドセル

市役所新庁舎について



永田 飛鳳
議員

私は議会や政治を若い人たちにも興味を持ってほしい、身近に感じてほしいと思っております。

そのような中、若い人の中には実際に議会を傍聴したいけれども、赤ちゃんがいるので、「今の傍聴席では泣いてしまった時のことを考えると来られない」という声や、「せっかくながら傍聴に行っても、質問している議員の顔が見えないし、他の議員の反応もわからなくて残念だった」というお話も聞いています。

開かれた議会とするため、新庁舎の建設に際しては議場のあり方についても検討する必要がありますと考えます。

そこで、以下について伺います。

- ①誰でも利用しやすい傍聴席とするため、子どもと一緒に見られる親子傍聴席の設置について
- ②車椅子の方でも傍聴できる

バリアフリースペースの設置について

- 公共施設事業調整担当部長
- ①小さなお子様連れの方が気兼ねなく傍聴できる親子傍聴席は、誰でも利用しやすい傍聴席とする上で必要なものと考えており、設置する方向で検討を進めています。
- ②本庁舎整備基本計画に基づき、市民のニーズや利用のしやすさに配慮して、傍聴席に車椅子用のスペースを設けるなど、バリアフリーを踏まえた検討をしています。

このほか

- 市立医療センターについて



現在の議場傍聴席

インフラマネジメント計画、公園計画と公園行政について



栄 寛美
議員

公園施設について今後増大していくであろう維持管理コストを減らしていくと同時に、限られた予算の中で市民生活の豊かさを持続していくためのニーズを踏まえた整備、改修やリニューアルも必要と考えます。そこで以下伺います。

- ①インフラマネジメント計画公園計画の基本方針から「立地の再編と施設の再編」、「借地公園のあり方と今後の方向性」について
- ②大池親水公園の池のポンプや噴水施設、滝など水を扱う施設の修繕や、周回する園路のバリアフリー化の要望があり、リニューアルやバリアフリーが必要と考えるがどうか

建設部長

①立地の再編は、利用者が極めて少ない小規模公園や借地の公園を対象に、必要性を判断した上で、地域の方々の合意形成を図りながら、地域のニーズに応じた有効活用を

行うなど、適切な再配置を図ります。また、施設の再編は、老朽化した施設を対象に、近隣の公園にも同じ施設が設置されている場合は重複を避け、別の遊具を設置することにより、バランスのとれた公園施設の再配置を図ります。

- ②リニューアルについては、地域の方々のニーズや利用状況などを把握した上で、市内のほかの公園とのバランスを図りながら、施設の再編なども考慮し、改善していきたいと考えています。

このほか

- 国民健康保険について

防災電話帳について



武 幹也
議員

防災電話帳は、災害発生時でも持ち出しが容易で、安否確認の方法や災害への備え、公衆電話の場所の情報等に加え避難所の情報等、地域の実情に合わせた防災情報が掲載された冊子で、市民の皆さまに自発的な防災意識の啓発を図る手法としては、極めて有

効なものです。

しかしながら現在、市町村が個別に協議し発行するのではなく、埼玉県と電話関係事業者で防災啓発情報等に関する協定を締結し、共通の防災情報と避難所、公衆電話等の情報を併せた「イツモ防災タウンページ」として発行することとなり、春日部市を含む東エリアは、本年11月配布を目指し作成、発行の準備を進めているとのことです。

この防災電話帳の作成、発行に伴う経費や配布先の対象者について伺います。

- 市長公室長

作成、発行に向けた協議内容の変更点は、市町村との個別協議がなくなったことです。費用面においては、電話関係事業者により広告協賛者を募り、市の費用負担はありません。さらに電話関係事業者により製本され、全住戸、全事業所を対象に無償で配布されると伺っており、広く市民の皆様が防災意識の啓発を図ることができるものと考えています。

このほか

- 消火栓や防火水槽について
- 自治会ならびに自主防災組織の現状について

**解体される公共施設で
救助訓練**



栗原 信司
議員

市役所本庁舎など解体される公共施設を使った救助訓練について、2年前に取り上げた時の答弁では「市民の生命を守る上で訓練は重要と捉えており、有効活用できる建物がある場合には、可能な限り協力していきたい」、また、旧市立病院を使った訓練については「300床以上の病床を持つていた病院であることから、土壌汚染対策法第3条に定める有害物質使用特定施設に該当するので、調査が終わるまでは使えない」との答弁でした。

その後2年が経過し、調査も済んだと聞きましたので、改めて解体される旧市立病院や市役所本庁舎など公共施設を利用した救助訓練について、市としての考えを伺います。

○消防長
旧市立病院を利用した救助訓練に関しては、関係部局から可能な限り協力をいただ

ると聞いています。今後は訓練内容を精査し、解体のスケジュールに合わせ関係部局と調整を進めていきます。

市役所本庁舎につきましても利用が可能と判断されることから関係部局と調整を図り、可能性を検討していきます。

このほか

○公共施設で避難訓練

○市民文化会館で避難訓練コンサート

○ポケベルの周波数帯の電波を利用した災害情報発信

○ヒートアイランド対策について・打ち水キャンペーン・ミストシャワー

豪雨災害から住民を守るために、中川の改修、水角排水機場の自動化を



大野とし子
議員

西日本豪雨の状況に、庄和地域中川周辺の皆さんは大きな不安を感じています。大雨が降れば道路冠水は当たり前、床上浸水もたびたび起こります。しかし、県管理の中川は、いまだ未改修です。県に早期の改修を求めていくべきと考えますが、市は中川の現状を

**春日部女子高等学校北側の
道路拡幅について**



滝澤 英明
議員

春日部女子高等学校北側の道路は、粕壁小学校の通学路に指定され、路線バスの経路にもなっています。道路の拡幅は、地元住民の長年の悲願です。そこで以下伺います。

①道路拡幅の市の考え方について②女子高のエレベーター棟増築工事に合わせ、道路後退を要請することだが、

最近の動向について③県の開発申請が提出され道路拡幅についてどのような協議を行っているのか④道路はどのような構造になるのか⑤道路拡幅工事の事業主体、後退部分の土地所有権は県と市のどちらになるのか⑥道路拡幅は、いつ実現するのか。

○建設部長

①通学路や路線バスの経路であり、安全性を確保する必要がありますと認識しています。

②県より提出された申請書の内容について協議を行っているところですが。

③道路後退部分の整備と道路用地の帰属などについて協議を行っているところです。

④幅員6メートルの整備を行い、側溝の設置や舗装も実施します。

⑤事業主体は県で整備しているところですが、土地所有権についても帰属していただけるよう県と協議中です。

⑥増築工事に合わせて整備を実施するもので、早期実現に向けて県と調整を図っていき

たいと考えています。

このほか
○市営住宅政策について



春日部女子高等学校北側道路

**銚子口橋建設を含む
橋りょう整備に関して**



古沢 耕作 議員

大落古利根川に架かる藤塚橋は、約1キロメートル上流にゆりのき橋ができたことで一時的に交通渋滞が緩和されましたが、現在は再び交通量が増して渋滞が発生しているとともに、かなり老朽化も進んでいます。そうしたことを踏まえた、今後の藤塚橋の整備について伺います。

また、地元住民の強い要望を受け、平成17年に本会議において架設に関する請願も採択されている（仮称）「銚子口橋」建設の計画が、事実上ストップしています。建設予定地のある豊野地区には近々、東埼玉道路が国道4号バイパスまで延伸してくる予定で、豊野工業団地の拡張の動きもあります。こうした周辺環境の激変を踏まえ、銚子口橋についての市の考えを伺うとともに、同事業を再び進めることを強く要望します。

○建設部長



老朽化した藤塚橋

藤塚橋については、老朽化が進行し、早期に対策が必要なことから、現在、耐震化・長寿命化について検討しています。また、銚子口橋は豊野地区のまちづくりの観点からも大変重要だと考えています。まずは藤塚橋の整備を優先したいと思います。

○市長

銚子口橋については、東埼玉道路の開通や産業団地の建設を注視しながら判断してまいります。

このほか

○自然エネルギー活用で春日部の農業を元気に

**「防災バイク隊」
の導入について**



木村 圭一 議員

災害時におけるバイクによる機動力は高く、その活躍は阪神・淡路大震災や東日本大震災でも活躍し、車では到底たどり着けない場所や、渋滞の影響や、ガソリン不足であっても少量の燃料で活躍ができる手段として注目を高めており、消防活動でも活躍してきているようで、草加市では、赤バイと称してサイレンや赤パトライトを設置し緊急走行も可能にし、活躍をしているようです。

そこで、以下伺います。

- ①本市でも同様の取り組みを行っているかどうか。
- ②近年ではバイクボランティア団体と災害時の応援協定を結んでいる自治体もあり、応援協定を結ぶことは有効であると考えますが市の考えは。
- 消防長
- ①消防活動用バイクは現場活動で幅広い活躍が期待できますが、現場において単独での

活動となるため、運転者の技能教育などの人材育成や運用体制の確立が課題となります。そのため、現時点での導入は難しいと考えています。

○市長公室長

②バイクを活用した災害時における応援協定の締結は大変有意義と考えており、今後、協定締結に向け関係団体と協議を進めたいと考えています。

このほか

- 時間外保育について
- ICT教育の充実について
- 障がい者の就労支援について
- 認知症について

**市のイメージ
キャラクターについて**



海老原光男 議員

市としては公式キャラクターの設定はないが、「クレヨンしんちゃん」が、市をPRする上で最も重要なキャラクターであり、今後も「クレヨンしんちゃん」を積極的に活用し、全国、全世界に春日部市をPRしていくとのことです。ぜひ、より一層の活用を

お願いします。

また、市内にはNPO法人春日部藤源郷の「とろ☆りん」をはじめ、春日部市商業協同組合、春日部市特産品協議会、庄和商工会、道の駅庄和などがイベント等で、それぞれのキャラクターを活用しています。

そこで、さらに市と各団体のキャラクターが連携することにより、市のPRにもなり、各団体、加盟企業の発展にもつながるものと思いますが、市の考えを伺います。

○総合政策部長

商工関係団体等のキャラクターについては、本市の特産品やグルメ、イベントなどのPRキャラクターとして活躍していただいております。これらのPRを通じて、春日部市のPRにもつながっているものと認識しています。

今後においても、これらのキャラクターの活用については、関係団体などとの連携を図り、可能な限り活用させていただくことで、本市のPRにつなげていきたいと考えています。

このほか

○災害に強いまちづくりの推進について

公園リニューアル 事業を進めよう！



岩谷 一弘
議員

公園は、市民の皆さん、そして地域にとっても大変身近で大切な場所です。この公園リニューアル事業は非常に注目をされていますし、子育て世代に定住していただくためにも極めて重要です。今年度は元町公園が整備予定ですが、リニューアル内容と選定基準、また、事業に対する市長の考え方について伺います。

○建設部長

公園リニューアル事業については、地域の方々の意見交換会やアンケートを実施し、地域のニーズに沿って実施しています。主な整備内容は、
①子育て世代のニーズへの対応として、老朽化した遊具を撤去し、複合遊具の設置②高齢者のニーズに対応して、健康遊具やベンチの設置③施設のバリアフリー化④災害時に炊き出しができるかまどベンチの設置、の4点です。
選定基準は、①公園面積が

900平方メートル以上の街区公園であること②開設後25年以上経過していること③地域と美化協定を締結し、公園管理に協力をいただいていること、といった要件をもとに地域性を考慮し、高い事業効果が見込まれる公園を選定しています。

○市長

この事業については、公園施設の再編や長寿命化などの事業とバランスを図りながら推進してまいります。

このほか

○自主財源確保で豊かな財政運営を目指そう！

春日部に東西自由 通路の設置を



武彦 卯月
議員

春日部駅付近連続立体交差事業は完成まで長期間を要します。それまでの間、東西自由通路を設置すべきです。
①まず、完成までの期間について、買取期間や工事期間、全体の期間をそれぞれどう見込んでいるのか伺います。
②工事の際に駅構内の跨線を

橋が邪魔になると思いますが、跨線橋を使いながら工事ができるのでしょうか。

③工事説明会で東武鉄道が「地下道を検討している」と述べています。工事のしやすさ、工事期間の短縮、安全性利便性などの点でも工事前に地下道や地下改札を設置すべきだと思いますが、市の考えを伺います。

○鉄道高架担当部長

①全体の事業期間は、埼玉県で事業認可を取得した後に事業着手から完成まで最短で12年を見込んでいます。なお、買取期間等の内訳については都市計画決定後に明らかにするものと考えています。
②具体的な工事手法や工程などについても、都市計画決定後に詳細が明らかになるものと考えています。

③工事の工程などについては、安全性や合理性、また経済性など、さまざまな影響などを踏まえ、総合的に判断していきたいと考えており、今後の詳細な検討の中で埼玉県、東武鉄道と協議、調整を行ってまいります。

このほか

○東海第二原発再稼働に反対を

庄和北部地域 学校再編について



穂 吉田
議員

埼玉県内初の義務教育学校となる江戸川小中学校の開校まで、いよいよ半年となりました。子供たちにとってもさまざまな刺激となり、学校がより一層活気づくように、併せて庄和北部地域のより一層の活性化に向けた跡地利用の環境整備を要望します。

そこで、以下伺います。

①小規模特認校制度の「対象学年」、「募集時期」について。

②宝珠花・富多両小学校の閉校後の「跡地利用」、「一部利用の有無」、「避難場所としての機能」について。

○学務指導担当部長

①小規模特認校制度は、江戸川小中学校を希望する場合に限定した制度となり、市内全域全学年の児童生徒が就学できる制度です。募集期間は11月上旬から12月上旬を予定しています。

○公共施設事業調整担当部長

②現在のところ宝珠花小学校を行政利用とし、富多小学校は民間活用とする方向性としていますが、施設の一部利用も含め、具体的な跡地活用の方角性については、地域の皆さまからのご意見を伺いながら検討していきます。

また、避難場所として引き続き利用を考慮する必要があるため、閉校後の避難場所としての機能についても、施設の一部利用とあわせて協議調整を図りたいと考えています。

このほか

○火災に強いまちづくりについて



江戸川小中学校

**複合型子育て支援施設は
抜本的に見直しを**



並木 敏恵
議員

市は、税務署跡地に保育所（定員120名）、病児保育室（定員3名）、児童発達支援センター（定員60名）の複合型子育て支援施設を計画中で、市民要望が実現すること
に大いに歓迎しています。

しかし、約3千平方メートルの敷地にこれらの機能を押し込めてしまっているのかという疑問があります。越谷市児童発達支援センターは2倍以上です。別々に建設することとは十分可能です。将来に禍根を残すことにならないように一度じっくり考えていただきたいと思っています。

そこで以下伺います。

①複合型とした理由②駐車場が十分確保できるのか③園庭とプールは、0〜5歳の健常児とさまざまな障害の子合わせて180人が一斉に遊ぶのは無理。豊かな保育が保障できないのではないか④支障が生まれるような事態になれば

複合型に固執することなく見直しをすることについて。

○こども未来部長

①公共施設マネジメント基本計画の方針に従い、複合型施設として整備することとしたものです。②定員に応じて必要な台数を確保していきたいと考えています。③子どもたちの遊びに支障が生じないようなスペースを確保する方針で進めています。④既に方針は決まっていますのでこのまま進めさせていただきます。

このほか

○市立医療センターの周産期・小児医療充実を



複合型子育て支援施設建設予定地（税務署跡地）

**市内小中学校の
熱中症対策について**



石川 友和
議員

小中学校の熱中症対策にはさまざまな角度から適切に対応していただいているとは思いますが、水筒の中身に関しては、熱中症予防には水やお茶ではなくて、断然スポーツドリンクだと思えますが、スポーツドリンクが許可されている学校と、そうでない学校があることは、時期も含めてここは市で統一するべきだと私は思いますが市の考えをお聞かせください。

そのほか、運動会の実施時期について、なぜ残暑が厳しく、熱中症のリスクがまだある9月に、しかも中旬に実施するのか。また、特別教室のまだ半数近くの教室にエアコンが設置されていないことについて伺います。

○学務指導担当部長

水筒の中身や持参する時期等は各学校の実情に合わせ、校長会等において情報交換、情報提供を行い、よりよい方

向を探っていきます。

運動会等の開催時期については、毎年各学校において検討を行なっています。修学旅行や市内科学展など10月以降の行事が多いことも9月開催との関係から9月下旬の実施を校長会でも推奨しています。

○学校教育部長

特別教室へのエアコン設置については、特別教室の利用頻度や使用時期など学校の使用実態を把握した上で設置の方法も含め関係部署と協議、調整しながら検討していきたいと考えています。

**学校給食食材の地産
地消の推進について**



中川 朗
議員

春日部市における学校給食は、数々の賞を受賞するなど、全国的にも大変評価の高いものとなっております。

学校給食で埼玉県産の地場産物を活用することは、安心・安全であることのほか、新鮮さや食味のよさ、さらには食育へとつながるものであ

り、さらに地産地消を推進するものと考えます。こうした取り組みにより、学校給食のさらなる充実を図っていただきたいと考えます。

そこで、学校給食における地産地消の推進と食育の取り組みについて伺います。

○学務指導担当部長

本市では食育の観点から地域の恵まれた環境の土地で育った地場野菜を積極的に学校給食に取り入れています。

食材の紹介を聞き、地元のお味を知ることが、食材を育てる方々や調理員さんに対する感謝の気持ちを醸成することに繋がっており、その上で各学校では、農業体験等の実践的な食育の取り組みを行っているところと

学校給食において米や野菜などの地場産物を活用することや、七夕、お月見などの行事の際には、その行事にふさわしい献立を工夫することにより、伝統的な食文化についての関心と理解を深めるための食育にも取り組んでいるところと

このほか

○住宅リフォームについて
○シテイセールスの推進について

AEDについて



榛野 博
議員

AEDは、突然の心停止を起こした人を正しく理解し、冷静に正しく使うことができれば、その場にいる人たちが命を救うことのできる医療機器です。春日部市においてもAEDに関して、その導入及び認知活動などが必要であると考えます。

そこで以下伺います。

- ①春日部市におけるAED設置数の推移について②民間事業者に対するAED設置に係る補助について③AEDの認知活動及び利用方法などの講習、教育の活動実績について
- 健康保険部長
- ①平成27年度末は284台、平成28年度末は294台、平成29年度末は310台となっています。
- ②AED機器の維持管理や更新時に財政的負担が生じることから、わずかな自治体のみ実施となっているところです。なお、本市では自主防災組織

育成事業助成補助金を活用し、AEDの設置を行った例があります。また、行事等必要な場合に市が保有するAEDを貸し出しする制度を制定しています。

③広報かすかべに記事を掲載するなどの周知を行っています。教育、訓練については、市職員に対する普通救命講習の実施、市民・団体を対象とした救命講習会を実施し、利用方法とともにその機能や役割を周知しています。

このほか

○図書館(室)について

○庄和保健センターについて

傍聴して一言

初めての傍聴でした。全員の意見を聞きたかったが時間がありませんでした。

性別・年齢未記入

質問に対して言葉をはつきり話してほしい。

市民のことを考えて働いてくださることに感謝しています。

公共施設で避難訓練があることを大変うれしく思います。

女性・75歳

具体的に質疑応答を聞くことができてわかりやすかったです。

女性・75歳

防災・災害ハザードマップを新しく改訂する件はとても気になっていたことだったので早目に実施してもらいたいと思います。

防災については何か災害が起きてからではなくて、市の古くなっていく建物や道路、橋などは絶えず点検してもらいたい。

女性・68歳

皆さん熱心に議論されておりました。傍聴者としては室温が低く寒く、一時間が限界でした。上着を持参すれば良かったと思っています。

男性・73歳

個々の一問一答については活力に欠け、真の生きた問答があっても良かった。しかしながら、議会全体が発展的であり、春日部市がより良い暮らしを前進させてくれることを願っています。

男性・76歳

※割愛させていただいた部分もあります。

閉会中の委員会活動

▽議会運営委員会

8月17日

平成30年9月定例会の運営について

・質疑・討論について

▽議会改革検討特別委員会

8月17日

・会議録のペーパーレス化について

・一般質問における制限時間について

▽広報広聴委員会

9月28日

・議会だより第53号について

10月5日

・議会だより第53号について

・議会報告会について

・視察結果報告書について

▽図書室運営委員会

10月5日

・平成30年度図書購入の申し込みについて

編集後記

10月28日に議会報告会を開催いたしました。お忙しい中、足をお運びいただき、貴重なご意見をくださった皆さまに、この場をお借りし、心より感謝を申し上げます。

こうした機会に市政に関心をお持ちいただき、議会の傍聴にお越しいただき、誠にありがとうございました。今回は初めて「議場」を会場とさせていただきます。

皆さまにおかれましては、向寒の折、ご自愛ください。

広報広聴委員会

- 委員長 古沢 耕作
- 副委員長 坂巻 勝則
- 委員 榛野 博
- 委員 石川 友和
- 委員 今尾 安徳
- 委員 吉田 稔
- 委員 鈴木 一利
- 委員 武 幹也
- オブザーバー
- 議長 鬼丸 裕史
- 副議長 荒木 洋美

〒344-8577

埼玉県春日部市中央六丁目2番地

春日部市議会

TEL 048-736-1111(代表)

内線3116

再生紙を使用しています。